

RESONAC

Chemistry for Change

ごあいさつ

大分石油化学コンビナート

代表 **山田 暢義**

NOBUYOSHI YAMADA



地域の皆さま、こんにちは。

平素から大分石油化学コンビナートの事業活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年1月1日に大分石油化学コンビナート代表に就任いたしました山田暢義と申します。

私は入社以来大分で勤務しており、製造と技術に関する部署で、省エネ、連携施策等の競争力強化策の検討を担ってきました。当コンビナートは弊社内では規模が大きく、安全管理やデジタル技術等で進んでいる面が多く、強みを活かし、アジア最強コンビナートを目指す取り組みを進めていきたいと考えております。引き続き皆さまのご指導ご鞭撻を何卒お願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、新型コロナは5月に感染法上の位置づけがインフルエンザと同様の5類に引き下げられ、多くの面で新型コロナ以前の日常を取り戻すことができました。コロナ禍においては、皆さまのご理解・ご協力により、コンビナートの操業を継続できたことに改めて感謝申し上げます。一方、海外ではトルコ・シリア（2月、M7.8）やモロッコ中部（9月、M6.8）で地震が発生し、国内でも元旦に能登半島でM7.6の地震が発生し甚大な被害が出ました。大分関連では、一昨年の政府・地震調査委員会の発表によると、南海トラフ地震の今後40年以内の発生確率が、「80~90%」より「90%程度」に引き上げられました。危険物等を大量生産・保有している当コンビナートとしては、本年以降も引き続き、地震・津波発生を前提に、対策を着実に進めてまいります。

他方、石油化学事業を取り巻く環境は、原油価格（WTI）は、昨年年初77ドル/バレルから最高値93ドル（9月）まで上昇後、直近では70ドル台半ばまで下落しました。このような状況下、世界的なインフレ進行、中国の不動産不況などによる経済停滞の影響で、比較的好調を保ってきた石油化学メーカー各社の企業業績は低迷し、エチレンプラントの実質稼働率は80%台まで落ち込んだ状況が続いております。中国の景気回復を契機

に2024年後半から2026年にかけて緩やかに回復する予想であり、稼働の準備を進めてまいります。

さて、レゾナックは去る2月14日に对外発表した通り、大分コンビナートを含んだ石油化学事業を今年末を念頭において、レゾナックの子会社として、その2~3年後の株式上場に向けた取り組みの詳細内容の検討を開始しました。石油化学製品は、皆さまの普段の生活・暮らしを豊かに支えるとともに、社会のさまざまな所で高機能性を発揮する必須な素材・社会インフラとしての役割を果たしております。当事業が将来に亘って持続的かつ安定的な運営を行うために、また独立した上場会社として石油化学のグリーン・トランスフォーメーションを実現可能とする取り組みを加速し、さらなる成長と競争力の強化を目指すためでもあります。このような状況下でもやるべき事は大きく変わらないと考えており、本年、当コンビナートでは、以下を重点課題として取り組んでまいります。

1つ目は「コンプライアンスの徹底と安全最優先」です。

昨年は、構成企業で2件、安全協会の常駐企業にて12件の労働災害が発生してしまいました。「今まで通り」に疑問を投げかけるという視点で今一度職場のリスクアセスメント等を実施し、改めて「事故・災害のゼロ」を目指していきます。

2つ目は、クラッカー・ユーティリティの競争力強化・設備信頼性向上策の具体化、新規誘導品の事業化、並びに場内連携強化による誘導品差別化を推進することで、大分石油化学コンビナート全体の総合的な競争力を強化します。

3つ目は、GHG削減ロードマップを、世の中の動向に合わせて見直し、施策の具体化です。

これら3つの課題解決が、今後の当コンビナートのサステナビリティに向けた鍵であり、大分コンビナートの大切にすべき価値観である大分Valuesを実践し、皆さまとの「協力と協調」の精神で、あらゆる可能性を共創していきたいと考えております。

地域の皆さまに一層のご理解とご協力をお願いし、就任のご挨拶とさせていただきます。

大分石油化学 コンビナート便り

—協力と協調—

Vol.63

大分石油化学コンビナート

〒870-0189

大分県大分市大字中ノ洲2番地

TEL 097-521-5112

FAX 097-521-7738

URL <https://www.resonac.com/jp>

構成企業 / 株式会社レゾナック

NSスチレンモノマー株式会社

サンアロマー株式会社

シコク硫炭株式会社

鶴崎共同動力株式会社

株式会社鶴崎サンセンター

東亜合成株式会社

日油株式会社

日鉄ケミカル&マテリアル株式会社

日本エラストマー株式会社

日本ポリエチレン株式会社

株式会社レゾナック・ガスプロダクト

大分石油化学コンビナートは、
上記12社で構成されています。

【発行元】(株)レゾナック大分事務所総務グループ



工場見学の様子



環境モニター制度とは、地域の皆さまから臭いや騒音等の環境面で気になることを遠慮なくお伝えいただき、当コンビナートの環境上の問題点の早期解決と管理レベルの向上を図るという仕組みです。

現在、20名の方にモニターをお願いしており、環境安全部から2ヶ月に一度環境モニターの皆さまに連絡をさせていただいております。

当日は、15名のモニターの皆さまにお集まりいただき、最近のコンビナートピックス等をご説明し、意見交換を行いました。その後、(株)レゾナック・ガスプロダクト（液化炭酸ガス製造プラント）の見学を行い、環境保全活動等へのご理解を深めていただきました。

この制度は行政等各方面から高い評価を受けております。今後も継続してコンビナートの運営改善に地域の皆さまの声を取り入れてまいりますので、環境モニターの皆さま、これからもよろしくお願いたします。



環境モニター会議

10月13日に環境モニター会議を開催しました。



意見交換の様子

出前授業を開催しました

大分石油化学コンビナートではCSR活動として、小学生・中学生を対象に化学実験の出前授業を実施しています。

昨年12月19日、地元の高田小学校を訪問し、5年生の授業でキッチンにあるものを使った化学実験を実施しました。

実験では、紫キャベツから抽出したアントシアニンの色水に、酸性のお酢やレモン汁、アルカリ性の重曹水を混ぜるとどのような変化が起こるかを調べました。保護メガネ、ゴム手袋を着用した子どもたちの表情は、



友達と協力する様子



試薬の抽出に悪戦苦闘する様子

「どんな実験ができるのか」「早く実験を行いたい」と期待に満ちていました。いざ実験が始まると、また表情が変わり真剣さが伝わってきました。スポイトを器用に使用して試薬を滴下する生徒、反対に悪戦苦闘する生徒などがありました。生徒同士が助け合い実験は進み、紫色の水がピンクや青に変化すると「おーっ」という声で教室全体が明るい雰囲気になりました。最後に行った中和反応の実験ではお酢と重曹を混ぜるとどんな変化が起こるかを体験してもらい、混ぜ



色の変化が楽しみな様子

た直後に泡が発生すると、この日一番の大きな歓声が響き渡りました。今回実施した実験は6年生で学習するもので、子どもたちにとってはとても新鮮な内容だったようです。6年生で授業を受ける際、今回の体験を思い出していただくと嬉しい限りです。



活動トピックス

10/26 コンビナート周辺道路清掃活動を実施しました

CSR活動および地域社会貢献の一環として、大分石油化学コンビナート従業員、協力企業従業員による一斉美化活動を実施しました。2007年から取り組んでおり、今回で22回目となります。



集まったゴミの山



清掃活動の様子

10/23 アルミ缶リサイクル活動収益金を寄付しました

社会福祉法人 新友会「ひまわりグループ」(所在地/大分市大字辻9-11番地)を訪問し、知的障がいをお持ちの入所者の方々に役立ていただきたいと、田沼大分事務所長よりアルミ缶回収事業で得た収益金10万円を寄付いたしました。

「ひまわりグループ」では、知的障がいの方の就労支援事業、生活介護事業を展開しており、就労支援事業施設の「ひまわり畑」では米、高菜、大根、サツマイモなどが栽培されています。収穫した高菜は漬け物に加工してスーパーや道の駅などに出荷され、またサツマイモは加工して、大分県外でも有名な「高崎山自然動物公園」の猿の餌として、出荷されているとのこと。

その他にも、多くの就労移行支援施設を有しており、利用者が日常生活や社会生活を営めるよう、就労に必要な知識の取得、能力の向上・維持を図る訓練や支援を行っています。

開所から39年を経過した施設であり、現在「ひまわりグループ」全体で180名と多くの利用者を受け入れられるほどに成長し、総合的な障がい福祉サービスを提供できるようになったと伺いました。また、入所する方々とそのご家族が安心して暮らすよう、職員の皆さまの努力により施設を運営されていることを感じました。大分石油化学コンビナートでは、今後もアルミ缶リサイクル活動を通じて、社会福祉への貢献に取り組みんでまいります。



寄付金贈呈の様子

大分トリニータ 2024年ユニフォーム(鎖骨)スポンサー契約

当社、レゾナックは2024年も大分トリニータとスポンサー契約を継続することが決まりました。ユニフォームの鎖骨部分には、「RESONAC」の文字が入っており、大分トリニータの選手たちが身に付けて試合に臨まれる姿を見ると、とても嬉しく思います。



選手たちがアグレッシブなプレーを繰り広げ、サポーターの皆さまと共に一致団結して勝利を重ねていけるよう、熱く応援いたします。

そして、地域密着型チームとして地域との絆を大切に活動される大分トリニータとともに、今後も地域の活性化・スポーツ振興を通じた地域の発展に貢献してまいります。

11/14 大容量泡放射システムの搬送・放水訓練を実施しました。



機材の配置訓練の様子

大分コンビナートにおいて、大容量泡放射システム搬送・放水訓練を行いました。これは、平成15年9月の北海道十勝沖地震に伴う浮き屋根式タンクの全面火災を教訓として配備を義務付けられたシステムの訓練です。大分コンビナートでは、「西

中国・北部九州地区広域共同防災協議会」として、山口県周南市に共同で配備しています。当日午前中は、大型トラック5台で搬送された機材の配置訓練を行いました。午後からは、海へ向け実際に放水を行い、所定の能力が発揮されることを確認しました。訓練においては多くの人の連携が重要となりますが、一つ一つの手順を確認しながら、慎重に対応することにより事故や怪我も無く訓練を終了しました。



海面に向けた放水訓練の様子

今後、このような実践的な訓練を重ねることによりコンビナート防災力強化に向けた活動を推進していきます。

お気づきの際は…

当コンビナートは、日頃から安全・安定・安心操業に万全を尽くし、地域の皆さまにご迷惑をおかけしないよう細心の注意を払っていますが、もし何かお気づきの点がありましたら、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

平日 ▶ 総務グループ TEL 097-521-5112
休日・夜間 ▶ 防災センター TEL 097-521-5131

クイズ

2024年4月30日(火)まで回答できます

どしどしご応募ください！お待ちしております



新しく大分コンビナート代表に就任した山田暢義の「暢義」は何と読む？

クイズ正解者の中から抽選で5名の方に粗品を進呈いたします。

本号より、左記の応募フォームより、回答をお送りください。「大分石油化学コンビナート便り」に対するご意見、ご感想もお待ちしております。

*ご応募の際にご記入いただく個人情報、当選者への商品発送の用途以外では使用いたしません。

ご応募はこちら！
読者クイズ
応募フォーム

